コートジボワール国月報（２０１７年１月）

|  |
| --- |
| 主な出来事【内政】●６日午前２時頃から７日まで、共和国軍に再編入された旧戦闘員らが手当の支給等を求め、中部ブアケで威嚇射撃や警察署等を襲撃した。●９日、ダンカン内閣が総辞職した。●９日、国民議会の開会式で第三共和制の初代国民議会議長選挙が行われ、ソロ・ギョーム前国民議会議長が選出された。●９～１３日、公務員の組合をとりまとめる団体「公共セクター職業人組織プラットフォーム」は、２０１２年４月の行政命令で実施された年金制度改革の撤回等を求め、全国的なストライキを展開した。●１０日、ウワタラ大統領は、国民議会においてダンカン前首相を副大統領に任命する旨発表した。●１０日夕、新首相としてアマドゥ・ゴン＝クリバリ大統領府事務総長が任命された。●１１日、ゴン＝クリバリ内閣が組閣された。●１３日夜、ブアケにおいて、政府と騒動を起こした国軍兵士の間で合意が結ばれた。●１７日、中部ヤムスクロで、国軍兵士が空に向け発砲し、車両で徘徊する事案が発生した。これら兵士は、１３日夜に政府と兵士の間で結ばれた合意の対象ではない。●２７日、「公共セクター職業人組織プラットフォーム」は、公務員側が要求６項目中５項目につき政府側から満足できる回答を得られたことから、交渉を継続するためストライキを１か月間中断することを決定した。【外政】●１１日、ウワタラ大統領は、タロン・ベナン大統領とアビジャンで会談した。【経済】●１６日、Ecobank、Bank of Africa及びCoris Bankはコートジボワール石油精製公社（ＳＩＲ）との間で、原油購入用に２，０００億ＣＦＡフラン（約４００億円）の融資契約を結んだ。●２８日、ベディエＰＤＣＩ党首は中部ダウクロで、Energia Solare SA社（伊）代表らと共に「ダウクロ・エネルギー・プロジェクト」の起工式を開催した。総費用約１６億ユーロ。（フラテルニテ・マタン紙、ランテール紙）●３０日、税関総局による２０１６年の年次レビューが行われ、同年の総税収は１兆６，１４８億ＣＦＡフラン（約３，２３０億円）であったことが発表された。（フラテルニテ・マタン紙） |

【内政】

・６日午前２時頃から７日まで、共和国軍に再編入された旧戦闘員らが手当の支給等を求め、中部ブアケで威嚇射撃や警察署等を襲撃した。威嚇射撃は、６日に中西部ダロア、北部コロゴ等でも聞かれたほか、兵士による待遇の改善を求める動きは中部ダウクロ、北部オディエネにも広がった。ドンワイ国防担当大臣によれば、兵士らの要求は、手当の支払い、給与引き上げ、早い昇進等。ドンワイ大臣は、兵士らと話し合い打開策を見いだすと述べた。（フラテルニテ・マタン紙他）

・７日夕、ウワタラ大統領は臨時閣議の場で声明を発表し、騒動を起こした兵士の代表と協議をした国防担当大臣の報告を受けて、兵士の手当の支払い及び生活条件・勤務条件の改善を検討することを確認すると述べた。８日朝以降、ブアケをはじめ、騒動が起きた各都市は平常化した。（フラテルニテ・マタン紙他）

・９日、ダンカン内閣が総辞職した。この辞職により、１２月１８日の国民議会選挙で当選した閣僚が新国民議会の開会セッションに参加できるようになり、同セッションで国民議会議長及び副議長の選出が行われる（フラテルニテ・マタン紙）

・９日、国民議会の開会式で第三共和制の初代国民議会議長選挙が行われ、ソロ・ギョーム前国民議会議長が選出された。（コートジボワール国営放送局（ＲＴＩ））

・９日付の大統領令で、バカヨコ国軍参謀長、クアシ国家憲兵隊上級司令官、ンビア国家警察長官の任務が終了し、新国軍参謀長にセク・トゥレ中将、新国家憲兵隊上級司令官にニコラ・クアディオ・クアク少将、国家警察長官にユスフ・クヤテ上級警視正が任命された。（大統領府ホームページ）

・９～１３日、公務員の組合をとりまとめる団体「公共セクター職業人組織プラットフォーム」は、昨年１１月のストライキに続き、中学校、高校、大学、保健センター、病院、行政機関で全国的なストライキを展開した。ストライキの目的は、２０１２年４月の行政命令に従って実施された年金制度改革（社会保険料の値上げ（１８％から２５％へ）や定年の引き上げ等）の非難及びその撤回の要求、２００７年及び２００９年に実施された賃上げの未払い分の支払いの要求。（フラテルニテ・マタン紙他）

・１０日、ウワタラ大統領は、国民議会においてダンカン前首相を副大統領に任命する旨発表した。（ＲＴＩ）

・１０日夕、新首相としてアマドゥ・ゴン＝クリバリ大統領府事務総長が任命された。（フラテルニテ・マタン紙）

・１１日、ゴン＝クリバリ内閣が組閣された。ゴン＝クリバリ首相を含め閣僚は２９名、大統領府付大臣４名。うち女性６名。１４名の閣僚が内閣を去り、マルセル・アモン＝タノー前大統領府官房長兼外相臨時代理が外務大臣、ティエリ・タノー前大統領府事務総長補が石油・エネルギー・再生可能エネルギー大臣に任命されるなど、９名が新入閣。（フラテルニテ・マタン紙他）

・１３日夜、ブアケにおいて、政府と騒動を起こした国軍兵士の間で合意が結ばれた。兵士には、５００万ＣＦＡフラン（約１００万円）が２月５日までに、７００万ＣＦＡフラン（約１４０万円）が７か月に分けて年内に支給される予定。（アビジャン発ＡＦＰ電）

・１４日、「公共セクター職業人組織プラットフォーム」は、政府側に公務員側との交渉開始と公務員側の要求に対する譲歩を求めて、政府側に対する圧力を強化するために、１月１６日から２０日にかけて新たなストライキを実施すると発表した。（ランテール紙）

・１６日、「公共セクター職業人組織プラットフォーム」は全国的にストライキを展開した。同日、アビナン公務・行政近代化大臣は、同プラットフォームに対し、次回閣議（１８日）で協議し、公務員が抱える不安に対して具体的で満足のいく回答を提示すると約束した。（フラテルニテ・マタン紙）

・１６日午後、騒動を起こした国軍兵士の一部が、政府と合意した金額を銀行振り込みによって受領した。今次振込額は合計１２００万ＣＦＡフラン中５００万ＣＦＡフラン（約１００万円）。（アビジャン発ＡＦＰ電）

・１７日、中部ヤムスクロで、国軍兵士が威嚇発砲し、車両で徘徊する事案が発生した。これら兵士は、１３日夜に政府と兵士の間で結ばれた合意の対象ではない。（アビジャン発ＡＦＰ電他）

・１８日午前１０時頃、アビジャン自治港近くで憲兵隊員が威嚇発砲する事案が発生した。同１８日の閣議後、コネ政府報道官は政府声明を発表し、全ての治安部隊に対し、治安部隊の生活条件の向上のため、あらゆる方策をとっているとしつつ、平静と職務への復帰を呼びかけた。同１８日午前１１時半頃、アビジャン港周辺の情勢は鎮静化した。（アビジャン発ＡＦＰ電他）

・１９日午後、公務員によるストライキをめぐり、「公共セクター職業人組織プラットフォーム」とアビナン公務・行政近代化大臣及び関係閣僚等が交渉した。政府側は、公務員が要求した項目のうち、死亡給付（給与の１２か月分）の復活、家族手当の復活、１６歳から２１歳までの子どもを持つ公務員への手当増額措置の復活、本人が死亡した場合に配偶者に支給される転換年金の支給開始を本人の定年まで遅らせる措置の撤廃、公共部門の日雇い労働者の公務員への組み入れ、組合費の給与からの天引きの復活について合意した。しかし、２００９年に政府が約束した昇給分の未払い金（総額２，４９６億ＣＦＡフラン（約５００億円））の支払い及び大半の公務員を対象とする一律の昇給の実施（総額２１０億ＣＦＡフラン（約４２億円）かかる見込み）については、合意に至らなかった。（フラテルニテ・マタン紙）

・２７日、「公共セクター職業人組織プラットフォーム」は、公務員側が要求していた６項目のうち未払い賃金の支払いを除く５項目について、政府側から満足できる回答を得られたことから、交渉を継続するためストライキを１か月間中断することを決定した。組合員に対しては週明け３０日月曜日朝７時からの職場復帰を呼びかけるとともに、政府に対し未払い賃金の支払いに係る提案をするよう呼びかけるコミュニケを採択した。（アビジャン発ＡＦＰ電）

【外政】

・１１日、ウワタラ大統領は、タロン・ベナン大統領とアビジャンで会談した。両大統領はコートジボワールでの国軍兵士の騒動、ガンビア情勢等につき意見交換した。（フラテルニテ・マタン紙）

・１２日、ウワタラ大統領は、アビジャンでペロノミ・ベンソン＝モイトイ・ボツワナ外務・国際協力大臣と会談した。ＡＵＣ委員長選挙の候補である同大臣は、ウワタラ大統領に自分の立候補について話をした。（フラテルニテ・マタン紙）

・２３日、ウワタラ大統領は、アビジャンでメズアール・モロッコ外務・協力大臣と会談した。同大臣は、モロッコのAU再加盟の進捗状況を報告した。（フラテルニテ・マタン紙）

【経済】

・５日、ダンカン首相は国連機関などの開発パートナーに、国家青少年政策（ＰＮＪ）文書を引き渡した。PNJは２０２０年までに２，８１０億ＣＦＡフラン（約５６０億円）の予算で、青少年の能力向を促進プログラムなどを内容とする。（フラテルニテ・マタン紙、ル・ヌーヴォー・レヴェイユ紙）

・１４－１５日、フラテルニテ・マタン紙は、１０日に世界銀行が発表したGlobal Economic Perspectivesを引用しつつ、世界の経済成長率が２．７％と予測されているが、中国の経済成長率は６．５％と予測されており、中国は２０１７年も世界経済の回復と発展を牽引し続けるとの記者のコメントを紹介した。中国による「一帯一路」構想、東アジア地域包括的経済連携（ＲＣＥＰ）、南南協力等が、多くの国々から評価されていると解説している。（フラテルニテ・マタン紙）

・１６日、Ecobank、Bank of Africa及びCoris Bankはコートジボワール石油精製公社（ＳＩＲ）との間で、原油購入用に２，０００億ＣＦＡフラン（約４００億円）の融資契約を結んだ。（フラテルニテ・マタン紙）

・１７日、独大使とＵＮＤＰカントリー・ディレクターは、避難民の社会統合と社会的結束強化を支援するプロジェクトに対し、計１４億ＣＦＡフラン（約２．８億円）（内訳：独１３億１，０００万ＣＦＡフラン、ＵＮＤＰ９，９００万ＣＦＡフラン）の資金供与に関する覚書に署名した。（フラテルニテ・マタン紙）

・２４日、フランス開発庁（ＡＦＤ）とコートジボワールは食品の安全性支援のための協定に署名した。フランスによる債務免除・開発計画（Ｃ２Ｄ）を通して、２０１４～２０２０年の期間で１０５億ＣＦＡフラン（約２１億円）を支援する。（ランテール紙）

・２５日、アフリカ開発銀行（ＡｆＤＢ）が、ベリエ州（中部）における農業プロジェクトへの計６７０億ＣＦＡフラン（約１３４億円）の融資２件及び贈与１件を承認したことが発表された。有望な農業産品（コメ、トウモロコシ、キャッサバ、野菜、豚肉、魚など）の振興や若者・女性を支援する。（フラテルニテ・マタン紙、ル・ヌーヴォー・レヴェイユ紙）

・２６日、タノー石油・エネルギー・再生可能エネルギー開発大臣は、バンダマ川コクンボ（中部トゥモディ県）水力発電ダム建設のため、英企業ELECTRA社との間で契約を結んだ。生産能力は推定７８メガワット。（フラテルニテ・マタン紙）

・２８日、ベディエＰＤＣＩ党首はダウクロ（中部）にて、Energia Solare SA社（イタリアの本件ドナー）代表者らと共に「ダウクロ・エネルギー・プロジェクト」の起工式を開催した。総費用約１６億ユーロで、ダウクロ及びアッシーニ（南東部）にて、太陽光発電所（３５０メガワット）及びバイオマス発電所（３５０メガワット）建設、バイオ燃料生産が計画されている。（フラテルニテ・マタン紙、ランテール紙）

・３０日、税関総局による２０１６年の年次レビューが行われ、同年の総税収は目標額に６７３億ＣＦＡフラン（約１３５億円）不足する１兆６，１４８億ＣＦＡフラン（約３，２３０億円）であったことが発表された。２０１７年の目標額は１兆８，４８４億ＣＦＡフラン（約３，６９７億円）となっている。（フラテルニテ・マタン紙）